

事例6 表層攪拌法(草地地形の造成)

この草地は山間に位置し、冷涼な気象条件にあるためシダ類が多く繁殖していました。ほぼ全面に見られるため、ロータベータでの鋤込み後に再生草を除草剤で除去する工法を設定しました。
また草地内に小さな池があったため、草地化のための土地造成を行いました。

草地更新前

2006年6月27日



草地内の池を起土後にブルドーザーで埋め戻してパワーハローで整地しました。

- 実施区 三戸畜産農業協同組合白萩平牧場 (青森県三戸郡田子町)
- 管理主体 三戸畜産農業協同組合
- 対象圃場 採草地 6.0ha
- 作業機
 - ・起土 ロータベータ
 - ・整地 ブルドーザー
 - ・攪拌 パワーハロー
 - ・除草剤散布 スプレーヤー
 - ・施肥 ブロードキャスター
 - ・播種 ドリルシーダー
 - ・鎮圧 ケンブリッジローラー
- 牧草種子
 - ・オーチャードグラス 3.5kg/10a
 - ・シロクロバ 0.5kg/10a
- 連携機関 青森県畜産協会

草地更新 1期

2006年6月27日~28日

起土



ロータベータ

整地



ブルドーザー

攪拌



パワーハロー

草地更新 2期

除草剤散布



スプレーヤー
2006年7月

越冬

草地更新 3期

除草剤散布



スプレーヤー
2007年5月

※諸事情により、播種作業を次年度に繰り越すこととなりました。そのため除草剤散布を2回行っています。

草地更新 4期

2007年6月18日

施肥



ブロードキャスター

播種



ドリルシーダー

鎮圧



ケンブリッジローラー

ワンポイントアドバイス

今回の草地には池がありましたが、草地の有効活用と更新以降の作業効率性を考慮し、埋め戻しを行いました。

草地等は一度造成すると長期間地形が維持されますので、凹凸が目立つ草地におかれては更新を機に重機等で造成することをお勧めします。

なお、急傾斜地は水平に近い状態に造成できれば造成効果は見られますが、傾斜が残る場合は、更新直後に土砂流出(エロージョン)を引き起こす恐れがありますので、傾斜が残った際は以降、天候に配慮した更新計画を心がけて下さい(事例2、3参照)。

草地更新後

2007年8月9日



完了